

平成29年

# 雲南市議会 12月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成29年12月11日～13日】

平成 29 年雲南市議会 12 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	12/11(月) 9時30分～	2 / 中林 孝	一問一答	1～2	11	12/13(水) 9時30分～	10 / 周藤正志	一問一答	19～21
2		19 / 小林眞二	一問一答	2～5					
3	12/11(月) 13時00分～	9 / 佐藤隆司	一問一答	5～7					
4		18 / 堀江治之	一問一答	7～9					
5		8 / 細木照子	一括	9～11					
6	12/12(火) 9時30分～	6 / 矢壁正弘	一問一答	11～13					
7		11 / 藤原政文	一問一答	13					
8	12/12(火) 13時00分～	1 / 上代和美	一問一答	13～16					
9		4 / 中村辰眞	一問一答	16～18					
10		15 / 細田 実	一問一答	18～19					

平成 29 年雲南市議会 12 月定例会 一般質問通告一覧表

平成 29 年 12 月 6 日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	2	中 林 孝 (一問一答)	1. 行政サービスの 対応について  2. 木次線対策につ いて	<p>(1) 土日の閉庁時における住民票などの交付依頼はどれ位あるか。また、交付依頼があった場合の対応について伺う。</p> <p>(2) 他市では、マイナンバーカードを使いコンビニで住民票の交付を受けられるサービスがある。また、ショッピングセンターに市民サービスのための窓口を開設している自治体もある。本市の対応は いかに。</p> <p>(3) 世帯主と別居し、近隣のアパートで一人暮らしをしている若者や若者夫婦などのケースが見受けられる。広報の配布や市からの連絡事項の周知はどのように行っているか。十分と考えるか。</p> <p>(1) 昨年、木次線の活性化について問うた。以降の木次線強化促進協議会や出雲の國・斐伊川サミットなどにおける協議状況、JR との交渉状況について伺う。</p> <p>(2) トロッコ列車の更新についての交渉状況、進捗について伺う。</p> <p>(3) 間もなく降雪時期を迎える。本年度の木次線のラッセル車配備状況について伺う。</p> <p>(4) 三江線は廃止前の乗り納めで活況を呈しているが、廃止される来年 4 月以降の沿線の状況を想像すると胸が痛む。木次線を三江線の二の舞にしない、との強い決意を改めて伺う。</p> <p>(5) 絶対になってはならない話だが木次線が無ければ誰が困り、どういう事態が想定されるかについて伺う。そうした仮にの状況で市としてどういう対応を取るかについて伺う。</p> <p>(6) 他県では首長が先頭に立って路線維持の対策を行っている事例</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>がある。住民自身の熱意と取組も必要だが政治や行政の関与も不可欠である。どのようにかかわっていくのかについて伺う。</p> <p>(7)広島県まで広域にわたる木次線は本市だけでの対策に限界もある。国や県が果たすべき役割も大きく、そうした関係機関への働きかけも重要であると考えが所見を伺う。</p> <p>(8)本市が JR の株主となり木次線の活性化・存続に向けて意思表示をする方法もある。考え得る手段の一つとして前向きに検討すべきと考えるが所見を伺う。</p>	
2	19	小 林 眞 二 (一問一答)	<p>1. 原発関連について</p> <p>2. 政策の推進について</p>	<p>(1) 区域(UPZ)内住民への安定ヨウ素剤の事前配布について</p> <p>①計画内容について問う。</p> <p>②課題や問題はないのか。</p> <p>(2) 経済産業省は原発立地自治体を対象にした補助金を本年度、島根原発 30 キロ圏内の雲南市に支給することに決まった。</p> <p>①補助金の内容について問う。</p> <p>②申請の経緯について問う。</p> <p>③再稼働の理解を得る狙いがあるのではとの報道に見解を問う。</p> <p>(1) 「たたら侍」映画製作について</p> <p>2年にわたる「たたら侍」の撮影は、多くの PR 活動やオープンセットを活用したイベントなど観客動員に向けて積極的に展開され、10月1日の「出雲たたら村」閉園をもって終了した。</p> <p>①全国での上映館数と動員数、興業収入について問う。</p> <p>②出演者の不祥事後の上映状況は。また、本年の「出雲たたら村」の入場者数及び売上について問う。</p> <p>③一連の事業が終了しての観光戦略としての評価を問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>④これまで雲南市は、映画「うん何?」「たたら侍」と観光宣伝のツールを映像に投資されたが、再度、要請があれば参加するのか問う。</p> <p>(2)清嵐荘改築について 新しく整備した温泉棟を残し、宿泊棟を約7億円で改築したい旨を、6年前に提案されたと記憶している。先日は、事業費総計19億3,800万円との見通しを述べられた。</p> <p>①当初計画では、小投資で民業を圧迫しないという基本的な考えから魅力ある宿泊施設を目指していたが、約20億円の改築計画に変遷したのは何が原因か。</p> <p>②民間投資20億円でホテル事業は、全額借入した場合、宿泊率及び営業収入でいくら必要と考えられるのか。</p> <p>③管理・運営計画について問う。</p> <p>(3)中心市街地活性化事業について 昨年11月に内閣府の認定を受けてスタートした中活事業は、まちづくりの要であるホテル事業の協議が進んでいないと聞く。</p> <p>①ホテル側との協議はどのような内容か。また、結論はいつ出されるのか。</p> <p>②ホテル側は、同時に進められている「清嵐荘」建設の公設民営方式と照らし、投資において有利な事業展開を図ろうと考えているのではと思えるが所見は。</p> <p>③誘致が不成立になった場合は、どのような対策を立てるのか。</p> <p>④中活事業計画を国へ申請する際に、ホテル側との基本合意あるいは覚え書き等の手順は踏んでいたのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 高齢者の人材確保について	<p>⑤行政主導による宿泊建設は、ホテル側のリーズナブルな宿泊料金設定や新築した清嵐荘が営業収入の拡大に走ることも考えられ、この状況こそ民業圧迫の事例の1つになると思われるが、見解を問う。</p> <p>(4)これまでの事業で、「たたら侍」撮影事業及びオープンセット公開事業への支援のあり方、ますます建設費が膨らんでくる清嵐荘改築事業、また、中活事業では、今だ確定しない目玉のホテル進出、そして、当初、計画した道の駅の6次産業化は、いずれも今日に至るまでの決定プロセス、事業の推進において、詰めの甘さや議会への具体的説明に欠けていたために、時間を浪費し、事業のスケジュールが遅滞していると考えられる。もう少しスピード感をもち、適確な計画・具体的内容をもって進めることで、関係者も安心して事業の推移を見守ることができると思われるが、見解を問う。</p> <p>近年、地元中小企業やサービス業など全業種的に人手不足・人材不足が叫ばれている。年々、高齢者人口は拡大する中、団塊世代はシルバー社会の真っ只中において、地域貢献や社会奉仕活動において重要な役割を担っていると思われる。</p> <p>一方では、団体への入会を敬遠する動きもあり、会員不足も起きていると聞くが、今回は2団体に絞り現状を問う。</p> <p>(1)市内におけるシルバー人材センターの会員数は。また、活動と運営状況について問う。</p> <p>(2)増える高齢者人口に反比例して加入者が減少していると聞くが、その要因と対応策について問う。</p> <p>(3)老人クラブの会員数とクラブ数は。また、活動と運営状況につ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要 旨	備 考
				いて問う。 (4)老人クラブの加入者減少の要因とその対応策について問う。	
3	9	佐藤 隆 司 (一問一答)	1. 公共工事の平準化について          2. 菅谷たたら山内について	(1)地域事情に配慮した公共工事の発注について、建設業は産業別就業者数割合でも 1 割強の本市にとって基幹的産業であり、年間を通じた切れ目のない公共工事の発注をし、建設業者の経営の効率化及び安定化、品質確保を図る上でも施工時期等の平準化に努めることが必要と考える。 ①山陰地方の気候は、特に冬場の降雪や降雨など天候不順であり、工事完成時期の年度末への集中を避ける必要がある。現状、年度後半期に工事が集中する傾向になっているのか伺う。 ②平成 27 年 9 月定例会での一般質問では「会計年度独立の原則で、繰越明許費を絡めて年間発注の平準化を図っていく手法は原則から外れ、制度化して恒常的に実施することはすべきではない」との答弁であった。現状の認識と施工時期等の平準化にどのように取り組まれているのか伺う。 ③国土交通省は、適切な工期の設定及び施工時期等の平準化に向けての取り組みについて積極的な展開を示されているが見解を伺う。 (1)重要な観光資源の活用と情報発信について、「菅谷たたら山内」は、昭和 42 年 (1967 年) に重要有形民俗文化財に指定されてから今年度は 50 年目の節目であった。また、平成 25 年 (2013 年) には山内にある長屋 (村下屋敷・三番屋敷) が追加認定され平成 30 年は 5 周年を迎える。 ①「菅谷たたら山内」は、今年度 50 年目の節目であったが観光 PR にどのように活かされたのか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. スポーツ振興について	<p>②平成 25 年（2013 年）尾道松江線の中国自動車道から吉田掛合インターチェンジ間が供用開始に伴い、平成 30 年は「たたらば壺番地」がオープンして 5 周年、長屋（村下屋敷・三番屋敷）が追加認定されて 5 周年を迎えるが観光 PR にどのように活かされるのか。</p> <p>③「出雲たたら村」の 3 万人を集客された「たたら侍ロケ地」の今後の活用方針について伺う。</p> <p>(1)2020 年オリンピック・パラリンピックを 3 年後に控え、また、2029 年（12 年後）から 2032 年（15 年後）を目途に島根・鳥取県での国体誘致が動きだした。スポーツ祭典の基軸が示されたことで、本市としてのスポーツ推進や健康維持・増進の戦略としてアクションプラン（行動計画）の策定により実行プログラムを計画的かつ具体的に推進し活性化する取り組みが必要であると考えます。</p> <p>①本市のスポーツ振興の意義と現状の認識、その上で今後、特に、2020 年に向けて求められる取り組みについて見解を伺う。</p> <p>②東京オリンピック・パラリンピック競技の事前キャンプ誘致に向けた本市の取り組みについて伺う。</p> <p>③スポーツ振興計画をより実行性のあるスポーツ推進に向けたロードマップ（行程表）策定による 10 年行動計画の必要性についての見解を伺う。</p> <p>(2)スポーツの普及、推進や機運の醸成に向けた具体的な取り組みについて</p> <p>①今回、新たにオリンピック種目になった種目があるが、子供たちの夢や希望につなげるためにも、野球（男子）・ソフト（女子）・空手・スケートボード・スポーツクライミング・サーフィンなど競技の普及</p>	



質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>推進策についての考えを伺う。</p> <p>②機運の醸成に向け生涯スポーツや軽スポーツ普及・推進の取り組みの具体策についての考えを伺う。</p> <p>③トップアスリート招へい事業や新たな大会の開催、既存大会などスポーツ推進を活性化させるため予算の拡充が必要だが見解を伺う。</p> <p>④全国大会等出場激励金交付金要綱の見直しの必要性について伺う。</p> <p>⑤スポーツ推進や健康維持・増進の活動にインセンティブを与える「健康ポイント制度」を導入する自治体が増えている。6月にも一般質問で具体的提言をされたが、どのように検討され新年度予算へ反映されるのか伺う。</p> <p>(3)現状の市体育協会や総合型スポーツクラブの現状について</p> <p>①現状の体育協会の活動は必ずしも活性化されている状況にはないが、現状の認識と今後の在り方について見解を伺う。</p> <p>②現状の総合型地域スポーツクラブの活動は全市的な展開とはなっていないが、現状の認識と今後の在り方について見解を伺う。</p> <p>(4)スポーツ推進に向けた市の組織体制について</p> <p>①日本体育協会は、2018年4月1日付で組織名称を「日本スポーツ協会」へ改称される。本市としても、より市民に分かりやすくスポーツ振興に特化した「スポーツ課」が必要だと考えるが見解を伺う。</p>	
4	18	堀江治之 (一問一答)	1. 新年度(平成30年度)の予算編成について	<p>(1)国の新年度予算が未確定の現時点、本市における歳入の見込額と国の現状について伺う。</p> <p>①一般会計予算の約半分を占める地方交付税の歳入見込額と国の現</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. プレミアム商品券販売について</p> <p>3. 市有林の林材について</p>	<p>状について伺う。</p> <p>②地方消費税の配分率の見直しが検討されているが、歳入見込額と国の現状について伺う。</p> <p>(2) 合併特例債の特例措置期限を控え、近年目白押しの大型事業計画における歳出について伺う。</p> <p>①当初予算に計上される事業で、最重要大型事業として取り組む事業は何か伺う。</p> <p>②本年2月に策定された、平成29年度から5年間の実施計画の主要事業一覧の内、平成30年度計画で高額な事業費となる大型事業の当初予算への計上の考え方について伺う。</p> <p>(1) 事業実施主体は商工会であるが、今年のプレミアム商品券の販売状況はどうであったか伺う。</p> <p>(2) 商品券販売に当たって、市民誰でも購入できるような体制となっていたのか、問題はなかったのか伺う。</p> <p>(3) 市民誰にでも幅広く、購入できるような方法は考えられないのか伺う。</p> <p>(1) 一般会計が公会計制度に移行するに当たり、市有林林材の資産状況の把握も必要になると思うが、平成28年度決算で示された山林477.85ha 材積 206,689 m<sup>3</sup>の樹種別数量について伺う。</p> <p>(2) 市有林の造林新植から伐採までの保育(下刈り・枝打ち・除伐・間伐)の齢級別施業の計画方針はどのようになっているのか伺う。</p> <p>(3) 柱・桁・梁・板材別に、利用可能材木はどの齢級での伐採を計画されているのか伺う。</p> <p>(4) 利用可能材木の林材は齢級別にどの程度の材積となっている</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>のか伺う。</p> <p>(5)雲南市の公共施設の改築・新築において、木造建築を推進するとされているが、その取り組みの具体的方針について伺う。</p>	
5	8	細 木 照 子 ( 一 括 )	<p>1. 地球温暖化問題への国民一人一人の取り組みについて</p> <p>2. 農業を活用した健康づくりについて</p> <p>3. 新しい「食品表示制度」について</p>	<p>(1)今年を振り返ってみても、異常な猛暑や局地的豪雨で過去にあまり経験がない。これらが地球温暖化によるものだとすれば、ますます厳しくなるであろう子供や孫の時代を心配する。世界が対応する「パリ協定」は、アメリカ大統領の離脱表明があったりしてモタモタ状態だ。</p> <p>①私たち国民一人一人が、たとえ小さな力でも合わせて、再生可能エネルギーや太陽光・水力・風力利用等で、出来る事から少しでも地球温暖化防止に立ち上がっていかないといけないと思う。県や市は、そのための住民指導をしてもらえないか伺う。</p> <p>(1)先月の新聞発表によると、早稲田大学の研究グループと島根大学の研究グループが、似たような農業者の健康調査をされた。これらの調査結果では、それぞれ「農業者は長寿で元気」、「農業従事者は低い有病率」というものが出た。</p> <p>①市でも農地の有効活用と日常生活習慣による健康づくりに、早速取り組みをされたいと考えるが伺う。</p> <p>(1)新しい「食品表示法」では、総体的にはいろいろな面で改善をされて、消費者からは感謝されている。しかし、食物アレルギーのある方へは、多くの改善はあったが、いまいちである。生産者・販売者によっては「アレルゲン品目」を分かりやすく別枠で表示されているが、善意によるもので、法定化されたものではないようだ。そして表示文字が非常に小さくて、高齢者の皆様に読めるか心配であ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>4. 「高齢者のごみ出し」への支援について</p> <p>5. 通学路脇などの危険な樹木対策の進捗状況について</p> <p>6. 夜行反射材の着用状況について</p> <p>7. 街路灯の照度について</p> <p>8. 金芽米の支援について</p>	<p>る。担当部としての所見を伺う。</p> <p>(1) ごみの収集に「分別の間違い」などで、収集されずに残された物を見る事がある。いま、全国的に「ごみの細かい分別が無理」な高齢者の方がおられる。</p> <p>①鳥取市や岡山市では、ごみ出しが困難な高齢者や障がいのある方の自宅まで行って、ごみ出し支援をしているといわれる。市の見解を伺う。</p> <p>(1)9月議会で、通学路脇等の危険に繁茂した樹木類対策を質問し、チラシ配布等で対応をしていくと答弁されていたが、危険と思える箇所対策は進んでいるのか伺う。また、「街路樹」は本市辺りでは必要ないと考えるが、如何か。</p> <p>(1)6月議会や9月議会でも触れているが、夜光反射材の夜間交通事故防止の効果は非常に高いと言われている。市内の夜光反射材の着用状況をどの様に判断しているか伺う。</p> <p>(1)「こちらの視力が衰えたのか、最近の街路灯の明るさが貧弱過ぎている。」という高齢者の方から苦情を聞いている。関係機関へ相談は出来ないか伺う。</p> <p>(1)グルテンフリー食品の高まりを受けて。米粉需要が盛り上がっていると言われる。そのような中で、きぬむすめを使った「金芽米」というものが注目されている。これは米の品種ではなく、精米段階で米の栄養分を逃さない方法のようだ。</p> <p>島根県農業協同組合では、11月下旬のところで「目指せ健康長寿しまねフォーラム」を大々的に開催され「金芽米」を支援しておられる。かなり力が入っているようだ。住民の健康に役立つものなら、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				市としても力強く支援すべきだと考えるが見解を伺う。	
6	6	矢 壁 正 弘 (一問一答)	1. コウノトリの保護、振興施策について	<p>(1) コウノトリの保護対策について</p> <p>① 現在、市内では5羽のコウノトリが確認されているが、保護対策としてどのような施策を考えているのか見解を伺う。</p> <p>② コウノトリの住みやすい環境づくりが急務であると思われるが、現時点での具体策を伺う。</p> <p>③ 国土交通省出雲河川事務所では本市のコウノトリに注目し、生息行動調査に乗り出している。本市との関連等はどの程度進展しているのか伺う。</p> <p>④ 大東町の西小学校敷地内に豊岡市の NPO 法人より寄贈を受けた人工営巣が設置された。今後、本市独自で設置の考えはあるのか見解を伺う。</p> <p>⑤ 今後、中止されているサギの駆除も再開されると思われるが対策は取られているのか見解を伺う。</p> <p>(2) コウノトリによる地域振興について</p> <p>① コウノトリを農業や産業の振興に活かしていく取り組みも考えられるが見解を伺う。</p> <p>② 観光振興で、コウノトリの生息場所での展望台設置や JR との共同でトロッコ列車の減速運転など考えられるが見解を伺う。</p> <p>③ 西小学校では、児童が研究、観察等行いコウノトリとの共存を学んでいる。市内他校でもコウノトリに対する知識を深め、環境対策等の教育に役立てる考えはないか伺う。</p> <p>④ 市長は9月定例会の施政方針において、コウノトリも住むことの出来る自然と調和した快適なまちづくりをめざすと表明されたが、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 農業振興について</p> <p>3. 鳥インフルエンザ対策について</p>	<p>どのような施策展開を考えているのか見解を伺う。</p> <p>(1) 農業振興について</p> <p>①園芸振興計画の策定により推進すべき品目として6品目選定されたが、今後どの品目を市の特産として奨励していくのか伺う。</p> <p>②園芸ハウス等整備実証事業は実証事業であり今年度限りの事業だが、この結果を踏まえ今後どのような施策を考えているのか伺う。</p> <p>③政府は来年度ハウス内のコンクリート張整備を行っても農地として認める考えを打ち出す方針だ。これにより園芸ハウスの利用価値は大きく変わると思われる。園芸振興に特化したハウス整備の施策も考えてはどうか。見解を伺う。</p> <p>④推進すべき6品目の中に「ぶどう」がある。現在、全国的に人気のシャインマスカットの生産に力を入れてはどうか。品種には赤系統の物もあり、国外輸出も考えられるが見解を伺う。</p> <p>⑤プレミアムつや姫について、この事業は農家の収益向上と生き残りをかけた施策であったように記憶する。平成29年度は5.6%と非常に低い認定率であったが、本当に収益向上、生き残りにつながっているのか見解を伺う。</p> <p>(2) 農業用工作物（取水堰）保全について</p> <p>①現在、農業用水の取水に使用されている取水堰は市内に多数ある。その大半が経年劣化のため修理が必要となっているが手つかずの状態だ。水は作物を耕作する上で最も重要と考える。本市として対策が必要と思われるが見解を伺う。</p> <p>(1)3月の一般質問の答弁では、鳥インフルエンザの対策は県の指針にしたがって行っているとのことだった。今年は宍道湖畔で高病原</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				性鳥インフルエンザ発症の報道がなされている。本市も発症現場から10キロ圏内に入る地域もあり警戒が必要と思われるが対策は検討してあるのか。	
7	11	藤原政文 (一問一答)	1. 30年度予算編成について  2. 障がい者の雇用、所得について  3. 校歌集の発刊について	(1)いわゆる米の「30年問題」をむかえるが、農業振興策に対して新年度予算編成に当たりどのように考えているのか。 (2)市道の崩落・落石対策は新年度予算編成に当たりどのように考えているのか。 (1)本市における障がい者の雇用および所得の現状に対する評価はどうか。 (2)本市でもきすきの里、しゃぼん玉工房での事例があるが、本市における「農福連携」による雇用の拡大、所得の向上の可能性をどのように考えているか。 (3)6次産業化を検討する上で、「農福連携」は考慮されているか。 (4)農業との連携に限らず、「〇福連携」の推進は、実施あるいは検討されているか。 (1)9月定例会で13番議員から提案があったが、実質ゼロ回答だった。校歌は市の財産であるとともに、卒業生にとっては心の糧でもある。校歌集の発刊について改めて伺う。 (2)校歌の著作権は、どこにあるのか。 (3)有志により校歌をCD等の記録媒体に保存し、配布することは可能か。	
8	1	上代和美 (一問一答)	1. 北朝鮮問題について	(1)11月29日未明、北朝鮮は弾道ミサイル発射を強行した。繰り返される核実験と弾道ミサイル発射は、世界と地域の平和と安定にとって重大な脅威であり、厳しく糾弾されるものである。戦争は絶対	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 介護保険について</p> <p>3. 市民の切実な要望を優先する市政運営について</p>	<p>に回避しなければならない。市民のいのちを守る立場の市長として、米朝直接対話による解決の働きかけを政府にもとめるべきではないか。</p> <p>(1)2018年度は、3年に一回の保険料改定の年度となっている。2015年度現在の制度及び介護報酬では6,669円の保険基準額が見込まれている。現在の基準額が5,400円なので、月額1,000円以上の値上げが見込まれていることになるが、第7期での保険料はどれぐらいが予定されているのか。</p> <p>(2)雲南広域連合では保険料未納者が、平成27年度末で308人、平成28年度末で292人である。そのうち保険料滞納の制裁措置で、保険給付率が7割に引き下げられている方が4名となっている。必要な介護を受けられない事態が起こってくる。何らかのセーフティーネットがあるのか。</p> <p>(3)2017年の介護保険法改定では、要介護認定率を減らすなど、国が給付抑制を自治体に誘導する仕組みを作ろうとしている。利用者や家族にとって本当に必要なサービスが受けられるように、第7期介護保険事業支援計画を充実させていくべきである。市長として、また広域連合長としての所見を伺う。</p> <p>(1)市民の多くから、地域の草刈りや道路の草刈りが困難であることを聞く。6月議会では主に道路愛護の問題を取り上げたが、通年で地域の方々の困難は増している。市道管理の抜本的対策が求められる。様々な努力がなされているが、業者への委託を増やすことは、仕事の創出にもなり、域内経済循環にもなると考えるがどうか。</p>	



質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>4. まちづくりについて</p> <p>5. 原発問題について</p>	<p>(2) 地域からは、草刈り機械（自走式、乗用式など）を市として考えてもらえないかという要望も聞いている。要望がある地域には、交流センター単位に設置の考えはないか伺う。</p> <p>(1) 中心市街地活性化事業において、ビジネスホテルの誘致がとん挫している状況だが、集客の見通しをどのように見積もっていたのか。周辺市に宿泊施設があり、今後清嵐荘改築も予定されている。ホテル誘致をもう一度検討しなおすべきではないか。</p> <p>(2) 自然豊かなこの地域にあったまちづくりを考えるべきである。平成 29 年度雲南市市政概要によれば、『主な観光地別観光客入り込み延べ数の推移』は、周辺部で地域資源を生かした観光地ほど少しずつではあるが伸びていることを示している。他市との違いを見据えて、派手でなくても、これらの地域資源を大切に育てていくことこそまちづくりに活かしていくべきと思うがどうか。</p> <p>(1) 11 月 29 日から開催されている県議会において、日本共産党県議が原発から 30 キロ圏内自治体の緊急輸送道路上における耐震対策が必要な橋梁数 71 橋梁、また落石等通行危険個所の整備率 35%、土砂災害要対策箇所の整備率は 18% の状況にあることを指摘した。避難において重要な問題である。市では何橋梁あり、それぞれの個所数はいくらあり、整備率はいくらか。また、今後の整備計画について伺う。</p> <p>(2) 青森県の日本原燃六ヶ所村再処理工場において保安規定違反が発覚し、原子力規制委員会は、再処理工場の適合性審査を中断した。2018 年度上期の稼働は難しい。これまで福島原発事故の原因解明がなされていないこと、宍道断層延長、国民世論の過半数が再稼</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				働反対など指摘してきた。今回避難計画の実効性も問題となっている。原発ゼロを目指すべきではないのか。市長の見解を伺う。	
9	4	中 村 辰 眞 (一問一答)	<p>1. ヘルプマークと あいサポート運動 の取組みについて</p> <p>2. 障がい者スポー</p>	<p>(1)ヘルプマークについて 島根県は、ヘルプマーク・ヘルプカードの配布を12月1日に開始している。同時に本市においても配布が開始された。 ①どのような方が対象となるのか伺う。 (2)周知・啓発について ヘルプマークについての啓発が必要と考える。幼児から高齢者まで幅広い周知が必要である。 ①就学前の子どもたちに対する周知についての考えを伺う。 ②小中学校に対しての周知は、特別支援学級だけでなく全校を対象とすることが大事と考えるが、見解を伺う。 ③徘徊を伴う認知症の方への配布も有効的と考えるが、周知については難しい部分があるのではないかと考える。高齢者に対しての周知方法について伺う。 (3)あいサポート運動について あいサポート運動は、平成21年11月に鳥取県で創設され、平成23年4月からは島根県も連携して取り組んでいる。 ①ヘルプマークの効果を十分に発揮させるには、あいサポート運動を積極的に展開する必要があると考える。本市の取組みについて伺う。 ②あいサポート運動についての理解を深める、サポーター養成講習会を開催する考えはないか伺う。</p> <p>(1)障がい者スポーツの現状について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>ツについて</p> <p>3. 雲南市通学路交通安全プログラム の取扱いについて</p>	<p>①東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会まで 1,000 日を切り、全国的にも盛り上りを感じるようになってきた。特にパラリンピックを受けて、障がい者スポーツへの関心が強くなってきている。本市の障がい者スポーツの取り組みを伺う。</p> <p>②スペシャルオリンピックスでは、障がい者と健常者が一緒にプログラムを行う、ユニファイドスポーツを展開されている。障がい者と共に行動を起こすことで、理解の輪を広げることが出来ると思う。スポーツイベント等において、障がい者と共に参加できる企画はできないか伺う。</p> <p>(1)本年度、教育委員会から各小中学校に対して、「雲南市通学路交通安全プログラムに基づく危険箇所の抽出について」との公文書が発出された。これを受け、PTA と連携しながら、取りまとめが行われたと承知している。</p> <p>①危険箇所等の取りまとめの際に PTA から「毎回、同じ内容で提出している。実現の見込みはないが粘り強く出し続ける」との声があった。提出された要望の取扱い方がどのようにされているのか実態を伺う。</p> <p>②プログラムでは、まとめた要望を関係各所へ打診し、解決の可否を決めていると聞く。否とされたものに対しては、次回へ引継ぎはなく、毎回リセットされる。発出文書の中には「既にプログラムに取り上げてある箇所については提出不要」とある。学校側はこれを受け同じ箇所なら提出しない。学校サイドと教育委員会との間に差異が生じている。整理をしなければならないと思うが見解を伺う。</p> <p>③可にしても否にしても結果をバックすることが大事である。結果</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. ラジオ等の不感 対策について	<p>に合わせて具体的な理由の伝達がされているのか伺う。</p> <p>(1)AM ラジオについて 本市には AM ラジオの不感地域が多くある。特に掛合町や吉田町では不感範囲が広域である。</p> <p>①近年、熊の出没が多くなってきた。熊に対しては、鈴よりラジオがより効果的であるとの調査結果がある。さらに災害時においても最終的に情報収集手段は電池式のラジオではないかと考える。不感地域の方々からは強い不満の声を聞く。放送事業者には不感対策に取り組んでいるところもあるが、本市はその対象ではない。本市として AM ラジオの不感対策を検討できないか見解を伺う。</p> <p>(2)携帯電話について</p> <p>①吉田町の県道 38 号では、吉田町中心地から松江道吉田掛合インターにかけて携帯電話が圏外となる地点がある。掛合町波多地域では自宅で携帯電話がつかえないとの声を聞いた。本市における携帯電話の不感地域がどのくらいあるのか伺う。</p> <p>②国内はもとより、インバウンドによる外国人観光客の増加へも取り組もうとするのであれば、観光地に対する無料 Wi-Fi はもとより、不感対策をしなければならない。事故災害時には携帯電話が大きな力となる。携帯電話不感対策についての見解を伺う。</p>	
10	15	細 田 実 (一問一答)	1. 平成 30 年度予 算編成について	(1)施政方針で来年度予算規模を今年度比 6.1%増の 298 億円程度とされた。一方、健全財政維持のため歳出面全般において徹底した削減を図る考えも財政からは示されている。大規模建設事業が多く取り組まれている中で、福祉、教育予算、市民の身近な要望への影響も心配されるがどのような財政運営を行っていくのか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 大規模建設事業 と財政問題について	(1)大規模建設事業が多数取り組まれている中で、予算、財政計画からの増額が目立つ。一方では「徹底的な削減」との整合性がない。グレードアップした公共施設の建設は望ましいが、それに伴い維持管理費の増加を伴う。既存の施設の維持管理費も増加する。限られた財政力のなかで市民福祉への影響を懸念するがどのように取り組むのか。 (2)かつて地域総合整備事業債を利用しハコもの行政が繰り広げられ、結局、借金返済と維持管理費により地方財政危機をまねいた。今日の大規模建設事業の推進が財政危機に陥る要因とならないか伺う。	
			3. 身近な道路の維持・改良と住民要望について	(1)身近な生活道路への維持、改良について日々住民の要望を聞く。道路パトロールなど実施され、実態を掴んでいると思うが改善に活かされているのか。現場の声が市全体で共有されているのか。改善が遅いのではないか。 (2)「道路わきの草刈りもなかなかできなくなっている」との声を聞く。高齢化や農業生産意欲の低下が原因とも思える。道路のり面草刈りによる怪我の事故もあっている。市としての今後の対応を伺う。	
11	10	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 人口について	「まち・ひと・しごと創生」の総合戦略が平成 27 年度から始まり、5 年計画の半分が経過した。現状認識と今後の対応について質す。 (1)本年 10 月における市の人口は 37,794 人（県推計人口）で前年同期比 712 人の減であり、浜田市に次いで多かった。総合戦略での目標人口は平成 32 年において 38,000 人程度としているが所見を伺	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 子ども・若者を 育てることについて	<p>う。</p> <p>(2)市の将来人口推計では、合計特殊出生率を 1.81（直近の県は 1.75）とし、単年度 0.03 向上し、2030 年には人口置換水準 2.07 を上限に設定している。希望を抱くのはいいが、あまりにも現実離れしているのではないか。</p> <p>(3)「人口の社会増」への挑戦の実績と課題は何か。</p> <p>(4)人口減少の加速を抑え、幅を少なくする緩和策は必要であり、現在さまざまな取り組みがなされている。しかし確実に減っていくことは避けられないわけで、人口が減っても安心して暮らせる「適応策」こそが求められるし、その将来イメージを提示していくことが行政の使命ではないか。</p> <p>市が持続可能であるためのまちづくりの大きな柱は、「子ども・若者を育てる」ことと、「地域経済を底上げ」することであり、これについて質す。</p> <p>(1)子育て支援について</p> <p>①親の経済的負担の軽減（医療費や保育料）や保育サービスの向上、子育て世帯への宅地取得助成など、さまざまな取り組みがなされ評価する一方、自治体間競争が激化している。子育て世代の流出を抑え流入を促す結果となっているか。</p> <p>②待機児童解消のため、保育所の新設と認定こども園化の見直しを図られることは良いが、問題なのは保育士の確保と待遇改善だ。どういう実態でどう対処しようとしているのか。</p> <p>(2)学校教育について</p> <p>①全県的に学力低下が見られ、とりわけ家庭学習をほとんどしない</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 全体を底上げする地域経済について	<p>子が多く大きな問題だ。全体的底上げをどう図っていくのか。</p> <p>(3)ひきこもりと不登校の実態と対策はどうか。</p> <p>(1)生産労働人口が減少し、今後ますます人手不足が深刻となる。市の現状はどうか。また、定年延長や元気な60代の雇用など考えられるが、どう対処していくのか。</p> <p>(2)SWS 西日本島根工場閉鎖に伴う退職者について、再就職は進んでいるのか。</p> <p>(3)一人でも多くの若い人が市内で働いてくれることが何より大事だ。若い人を雇用してくれる既存の企業・事業所への支援や助成の方策を考えるべきではないか。</p> <p>(4)市内産品の開発・販路拡大も大切な取り組みだ。もっと市民への周知、PRを行い、市民にも拡散の手伝いをしてもらうべきだ。カタログギフトなど、せっかくの良い試みを1回で終わらすべきではない。</p> <p>(5)基幹産業である農業も生産調整の廃止等で行く末が見えない。今年度市は農業ビジョンを策定することになっているが、市長は市の農業をどういう方向にもっていこうと考えているのか。</p>	